

学校運営協議会（全日制部会）議事録

校名	府立 春日丘高等 学校
校長名	濱崎 年久

開催日時	令和 5 年 10 月 26 日（木） 13:00 ～ 14:30
開催場所	大阪府立春日丘高等学校 本館 1 階 校長室
出席者(委員)	花崎委員、笠原委員、川中委員 有福委員
出席者(学校)	濱崎校長、藤澤教頭、野田事務部長、大岡首席、山田首席
傍聴者	なし
協議資料	授業一覧表、校内平面図
備考	

議題等(次第順)
授業見学 協議開始 ①授業見学の感想など ②学校経営計画の進捗状況について その他諸連絡 ①第1回議事録について ②スクールポリシーとR6教科書の決定 ③次回予定（案）について…令和6年2月6日 又は 2月7日
協議内容・承認事項等（意見の概要）
○運営協議会委員の発言 ●本校教職員の発言 ①について ○隣り合うクラスで、同じ科目の授業が行われており、対比して見る事ができた。ホームページで調べて議論しているのが印象的であった。また、教養的な話題と学習内容のバランスの取れている授業もあるが、理系の科目では、教養的な話題をするのは難しいと感じた。 ○家庭科では、ミシンの実習を行っていたが、座学の授業が多かった。おとなしいが寝ている生徒もいたりして、もっと元気があっても良いのではないかと思った。プロジェクタの投影が鮮明であった。 ○プロジェクタの活用に関して言えば、自分の見た19教室中、8教室でしか使われておらず、まだまだ活用の余地があると思う。先生方で勉強会をしてはどうか。授業の進め方では、聞いたり、ノートを書いたりするばかりではなく、生徒に対する問いかけをもっと多くても良いのではないか。その方が生徒にも集中力が生まれる。 ○入室の際に脱いだ靴やスリッパを並べるような指導も大切にしてほしい。 ○プロジェクタの活用については、あらかじめ作っておくと便利である。しかし、自分の高校時代を振り返った時に、数学の先生がフリーハンドで綺麗な円を描いていたのを見てすごいなと感じたことがある。実際に大学の入学試験では、自分で図を描かねばならない。デジタルとアナログをバランスよく活用することも大切であると思う。 ②について ●5月に新型コロナウイルス感染症の法上の位置づけが、2類から5類に移行され、学校における教育活動が以前のような形で行えるようになってきた。既に4月には、新入生オリエンテーションを実施したのを初め、藤蔭祭の体育の部、文化の部ともに、入場制限なしで実施することができた。来年3月には、ミネアポリスへの派遣研修も実施する予定である。
次回の会議日程

日時	令和 月 日（ ）00：00～ 後日、日程調整のアンケートを実施して決定。
会場	本校校長室など